

# 東 京 新 聞

「次の衆院選に挑戦」  
公示前の復党に含み

自民離党の松本純氏

新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言中の一月、東京・銀座のクラブを訪れていたとして自民党を離党した松本純衆院議員(七〇) 〓神奈川県〓は十六日、横浜市内で会見し、「次の衆院選には無所属だろうが、復党しようが挑戦する」と述べた。自民党県連は「選挙前の復党はあり得ない」とするが、松本氏は公示前の復党に含みを持たせた。

松本氏は「私の軽率な行動について深く反省している」と改めて陳謝。復党は「党が決めること」としつつ

つも、「政策を実現するためには復党したい」「無所属で衆院選に出るのはいいことではない」と復党への希望を語り、「できれば出馬前に立場を明らかにしたい」と説明した。

松本氏の後援会は七月、県連に復党願を出したが、県連は拒否。ただ、対立候補は出さず、自民の地方議員が選挙戦を支援する。一方、県内選出の河野太郎行政改革担当相が総裁に選ばれれば、同じ麻生派に属する松本氏を復党させる動きが出るのではないかと、自民の地方議員らは警戒している。県連幹部は「仮に公示前に復党させたら、自民党に大きな逆風が吹く。有権者に説明がつかない」と話した。(志村彰太)